

第6章 地域別構想にあたって



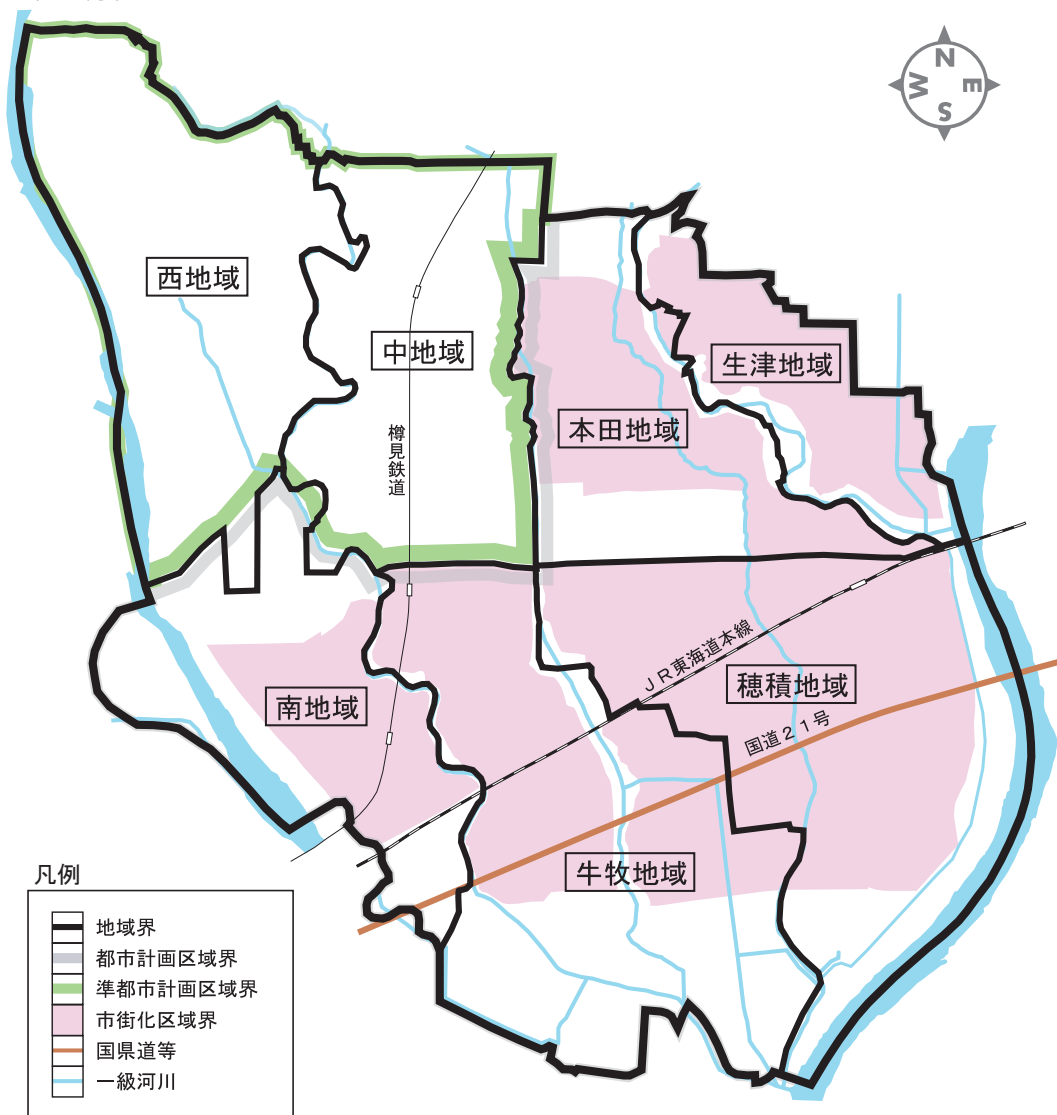
第6章 地域別構想にあたって

地域別構想では、全体構想の内容や、地域の特性を考慮しながら、各地域のまちづくりの方向性を定めます。

6-1 地域区分

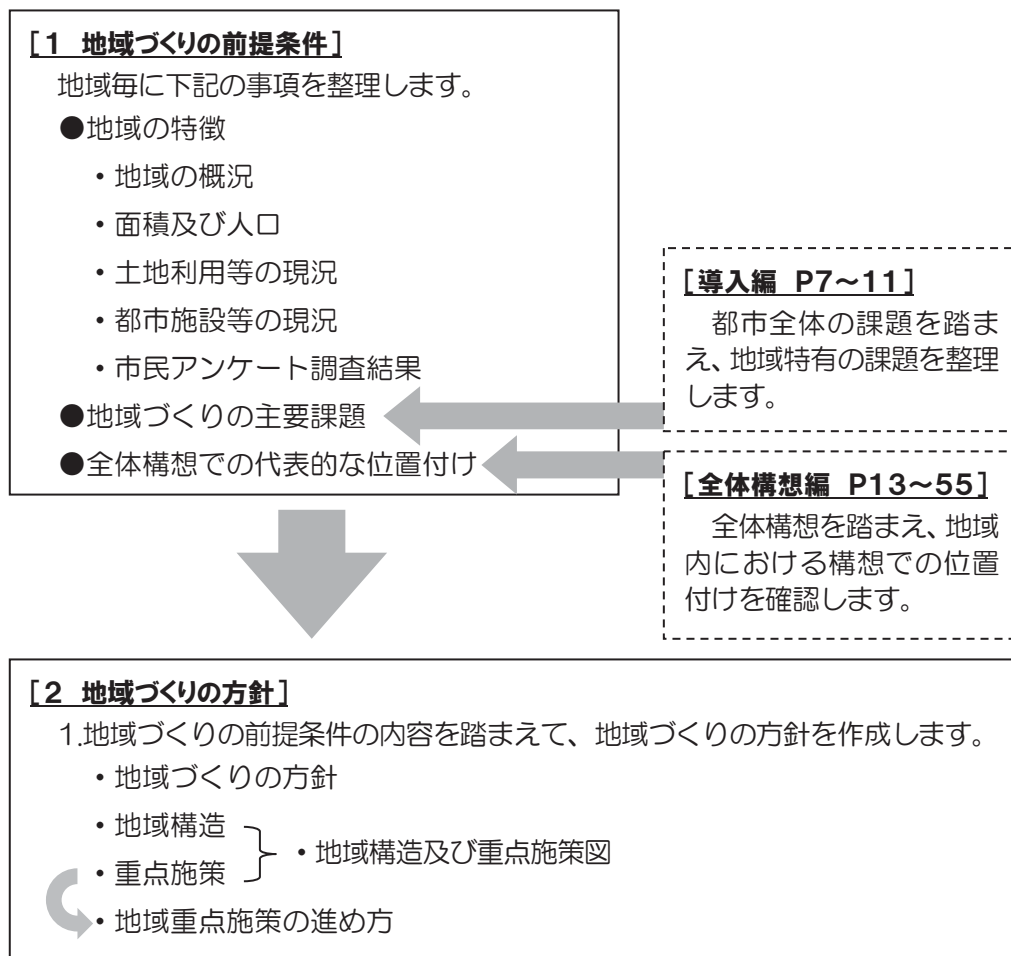
- ・地域区分は、改定前の7つの小学校区による区分を継承します。この7つの地域区分は、自然的、社会的、経済的及び文化的諸条件、関連計画や市民の日常生活等においても、基本となっていることを勘案し、設定しています。

図 地域区分図



6-2 地域別構想の構成

- 地域別構想は、導入編のP7に示す重点課題への対応、P8～11に示す都市全体の個別分野課題への対応、そして全体構想の内容を踏まえて、下記に示す流れにより、作成します。



6-3 地域共通の課題と施策

1. 地域共通の課題

- ・地域別構想の作成にあたり、第2章で示されている都市全体における「都市機能」、「土地利用」、「都市基盤」、「都市環境その他」の4つの視点からの下記の都市づくりの主要課題を各地域の共通の課題として整理し、都市全体の分野別都市づくり計画の施策との関係を整理します。

課 題		分野別都市づくり計画			
都市計画における視点	内容	道路、交通	水、緑	市街地	都市環境
都市機能	・人口増加の維持に向けた、若者の定住を促進する良好な住環境の形成		○	○	
	・超高齢社会に対応した、市民が健康で元気に暮らせる住環境の創出		○	○	
	・人口減少による日常生活への影響（生活関連サービスの撤退等）を見据えた計画的な対応	○		○	
	・岐阜市、大垣市等との広域的な連携、役割分担の一層の強化（良好な宅地供給、道路整備等）	○		○	
	・食料生産地としての役割や、防災、景観形成等の多面的機能の維持を考慮した、農地の計画的保全			○	○
	・「岐阜都市計画区域」全体として目指す方向性を踏まえた都市づくり（主要な駅周辺での居住空間の形成、自家用車に過度に依存しない身近な日常生活圏の構築等）	○		○	
土地利用	・市街化区域内に残存する低未利用地の市街化促進と計画的な利用		○	○	
	・住宅主体の良好な市街地環境の維持、保全			○	
	・各地区の状況に応じた住環境と操業環境の混在解消や調和			○	
	・都市活力や生活利便性の向上に向けた、商工業系の土地利用の充実			○	
	・駅周辺、幹線道路沿道等の利便性の高い場所の有効、高度活用			○	
	・無秩序な市街地の拡大の抑制			○	
都市基盤	・都市施設整備（特に、整備が遅れている公共下水道）や土地区画整理事業の着実な推進	○	○	○	○
	・都市計画道路以外の路線を含めた、利便性の高い幹線道路ネットワークの形成	○			○
	・高齢化に配慮した都市基盤等の整備	○		○	
	・超高齢社会に対応した、公共交通の充実	○			
	・瑞穂市の特色（河川が多い等）を活かした公園、緑地の整備		○		
	・人口減少等による財政への影響を見据えた、各種施設の統廃合や適切な整備、維持、管理	○	○	○	
都市環境その他	・道路、公園、堤防等の防災インフラの充実や適正管理	○	○	○	○
	・巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した都市づくり			○	○
	・本市の特性を踏まえた、周辺都市との連携による都市づくり（河川を軸とした生態系ネットワーク、流域治水対策等）		○		○
	・地域資源やその背景となる市街地や集落環境（街並み）の保全と、地域活性化に向けた活用			○	○

2. 地域共通の施策

- ・地域共通の課題に対応した将来都市構造及び土地利用構想の実現に向けて、第5章の分野別都市づくり計画に示しました「道路、交通づくり」、「水、緑づくり」、「市街地づくり」、「都市環境づくり」の都市計画施策を7つの地域の共通の施策として、整備、誘導の方針と主な施策の内容を整理します。

分野	整備、誘導の方針	主な施策の内容	備考(参照ページ)
道路、交通づくり	段階構成の明確な幹線道路ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・東海環状自動車道、岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号、主要地方道岐阜県南大野線バイパス等の整備を促進、市道西部環状線等の整備を推進 	≪幹線道路の整備≫ P36～38
	都市間を結ぶ道路の整備		
	地域間を結ぶ道路の整備		
	生活道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・一般県道美江寺西結線、一般県道穂積県南線等の整備を促進 	≪安全、快適な道づくり≫ P38、39
	歩行環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全確保の重要性の高い場所(駅周辺、通学路等)や歴史、文化資源の保全、PR施策と連携した整備を推進 	
	美しく機能的な道路空間の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人々が利用する幹線的な道路の整備を推進 	
	利便性の高い公共交通ネットワークの形成	<ul style="list-style-type: none"> ・JR東海道本線、樽見鉄道とバス等の輸送機能の維持、強化や輸送サービスの維持、向上とネットワークの形成及び超高齢社会に対応するため、交通弱者対策を重視した運行路線等の検討 	
	交通結節点の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・JR穂積駅周辺地区、県南庁舎周辺地区等での円滑な乗り継ぎに寄与する環境の整備を検討 	≪公共交通の充実≫ P39
水、緑づくり	拠点的な公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・安全に安心して使用できる中・大規模な公園を配置し、計画的に整備の推進と既存公園等の防災、防犯機能の強化等を検討 	≪公園の整備≫ P42
	身近で安全な公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・低未利用地などを活かし、計画的に整備を推進 	

分野	整備、誘導の方針	主な施策の内容	備考(参照ページ)
水、緑づくり	親水空間の整備	・犀川や五六川等の河川改修、その他治水関連事業にあわせた親水空間の整備を推進	《緑豊かで潤いのある空間づくり》 P42、43
	水と緑のネットワークの形成	・一級河川、幹線道路の街路樹、緑の多い公園等による水と緑のネットワークの形成と適切な保存、管理等の推進	
	緑豊かな住環境の保全、創出	・公共公益施設、民有地の緑化や適切な維持、管理を推進、良好な営農環境や景観、防災等を支える農地の保全	
	下水道の整備	・公共下水道等の整備を推進	《公共用水域の保全》 P43、44
市街地づくり	都市基盤未整備地区の整備	・低未利用地がまとまって残存する場所での土地区画整理事業などによる計画的な市街地整備を推進、木造住宅密集地等の環境改善	《都市基盤の整備》 P47
	都市基盤整備済地区（土地区画整理済等）の環境保全、有効活用	・地区計画制度を活用したきめ細かな土地利用の誘導等を推進	
	集落の整備	・農業施策との連携や生活道路や排水路等の整備を推進	
	土地利用に係る制度の適切な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・犀川周辺地区や国道21号沿道周辺地区などの重要な役割を担う場所での市街化区域への編入を検討、準都市計画区域などでは土地利用条件の変化に留意した土地利用ルールの指定を検討 ・土地利用の現状や動向等を踏まえつつ、適切な用途地域の見直し等を推進 ・拠点的な場所における高度利用等を図るための地区計画制度を活用した土地利用誘導の推進 	《適正、合理的な土地利用》 P47、48
	既存ストックの活用	・道路、公園、公共公益施設等の適切な維持、管理と長寿命化による有効活用、空家等の有効活用と支援、誘導方策の検討	

分野	整備、誘導の方針	主な施策の内容	備考(参照ページ)
市街地づくり	都市拠点（JR穂積駅周辺地区）の整備	<ul style="list-style-type: none"> 若い世帯の定住に寄与する子育て支援施設や中高層の集合住宅などによる都市機能の集積、複合化、JR穂積駅を中心とした交通結節機能の強化などにより、土地利用施策、公共交通施策、市街地整備を一体的に推進 	≪拠点地区の整備≫ P48、49
	地域生活拠点（巢南庁舎周辺地区等）の整備	<ul style="list-style-type: none"> 都市基盤の整備、改善や交通結節機能の強化、不足する都市機能の集積等を推進 若者が魅力を感じる住環境の整備を推進 	
	学術研究拠点（朝日大学周辺地区）の整備	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機能の強化、健康、医療、福祉関連産業等の機能集積に向けて地区計画制度等の活用 	
都市環境づくり（防災、景観、環境）	災害に強い都市基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> 河川改修や治水対策、下水道、雨水排水施設の整備、緊急輸送道路等のネットワークの形成に向けた幹線道路の整備及び橋梁の耐震化の推進 	≪防災性の向上≫ P52、53
	地域の不燃化、耐震化	<ul style="list-style-type: none"> 災害に強い建築物への建替え等の促進、防災拠点である公共公益施設などを中心とした耐震化の推進、住宅その他民間建築物の耐震化を促進、支援 	
	防災情報の整備、活用	<ul style="list-style-type: none"> ハザードマップ等の防災情報の見直し、充実 	
	地域特性に応じた良好な景観形成	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑に恵まれた環境や景観資源を活かした良好な景観形成を推進 	≪良好な景観の形成≫ P53、54
	公共空間の景観整備	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺や公園等公共空間での良好な景観形成の先導的な取り組みを推進 	
	景観に配慮した民間開発の誘導	<ul style="list-style-type: none"> 景観計画を策定し、良好な景観形成に向けた計画的な取り組みを推進 	
	低炭素な建築物の整備、誘導	<ul style="list-style-type: none"> 都市の低炭素化の先導的役割に留意した取り組みを推進 	≪地球環境の保全≫ P54
環境負荷の少ない都市構造の構築	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活を支える機能の集積や安全な歩行環境の整備、各拠点間の公共交通ネットワークの形成等を推進 		

第7章 生津地域のまちづくり構想



第7章 生津地域のまちづくり構想



7-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北東部に位置し、馬場及び生津地区が該当します。
- ・長良川と糸貫川に挟まれた位置にあり、東部には天王川が流れています。
- ・鉄道はなく、主要な道路としては、主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南大野線が通っています。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線）が通っています。

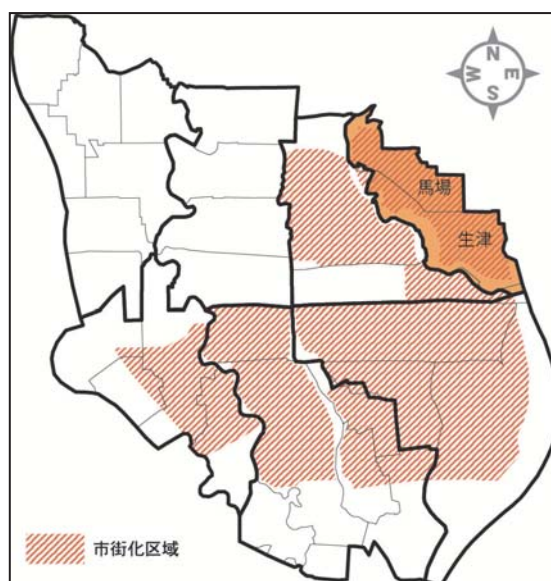
〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、5,530人（市全体の10.2%）で、平成22年～27年の人口増減は、501人の増（10.0%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、888人（市全体の8.4%）で、高齢化率は16.1%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、2,056世帯（市全体の9.8%）で、世帯人員は2.69人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約190haと最も小さい地域ですが、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域の占める割合が、約75%と高くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・ほぼ全域で土地区画整理事業が実施されたことから、他地域に比べ市街化が進展しており、都市基盤の整備水準も高くなっています。
- ・主要地方道北方多度線や主要地方道岐阜県南大野線等の幹線道路沿道には、商業施設、工場、運輸倉庫施設等が建ち並び、天王川周辺にも工場が立地するなど、産業機能の集積が進んでいます。

図 地域の位置



- ・地域の南東では、住宅建設が進み、住商工の土地利用が混在しています。

〈都市施設等の現況〉

- ・都市計画道路は、3路線すべての整備が完了しています。また、都市計画決定された公園は、馬場公園など9箇所すべての整備が完了しています。
- ・下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- ・主な公共施設としては、生津小学校、生津スポーツ広場、馬場公園等が位置しています。
- ・面的整備が広範囲で実施され、幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
- ・多くの河川が流れており、良好な自然環境、親水環境を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- ・定住意向は84.4%です。
- ・定住したい理由では、「買い物や外食が便利」という意見が多くなっています。
- ・定住したくない理由では、「まちに愛着がない」という意見が多くなっています。
- ・今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

道路、公園、下水道などの公共インフラ整備

- ・現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

子育て、医療、福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない

- ・将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

空き地や未利用地などの有効利用を促進する

2. 地域づくりの主要課題

・馬場交差点周辺における生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積
・低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用による商工業系土地利用の一層の充実
・住宅主体の良好な市街地環境の維持、保全
・地域特性に応じた用途の見直しによる住環境と操業環境の調和
・河渡宿（岐阜市）等、中山道の往時をしのばせる集落環境（街並み）と連携したまちづくり
・河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
・巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）
・地域の個性、魅力を形成する地域資源の発掘、活用

※導入編P 8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- ・地域生活拠点：馬場交差点周辺地区
- ・交流拠点（健康づくり、市民交流）：馬場公園、生津スポーツ広場、糸貫川河川公園
- ・交流拠点（歴史、文化交流）：河渡宿（岐阜市）
- ・産業集積軸：主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜栄南大野線

7-2 地域づくりの方針

充実した都市基盤を活かした産業と住宅地が共生した 利便性の高い地域づくり

- ◆馬場交差点周辺において、生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等を維持、不足等が生じた場合には集積し、利便性の高い地域生活拠点の形成を図ります。
- ◆幹線道路沿道において、交通利便性の高さを活かした産業（商業、工業、流通、業務等）の積極的な誘導により、産業機能のより一層の強化を図ります。
- ◆都市基盤の整備、長良川、糸貫川等の自然環境の保全、活用や市街地の緑化を推進し、良好な住環境の形成を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

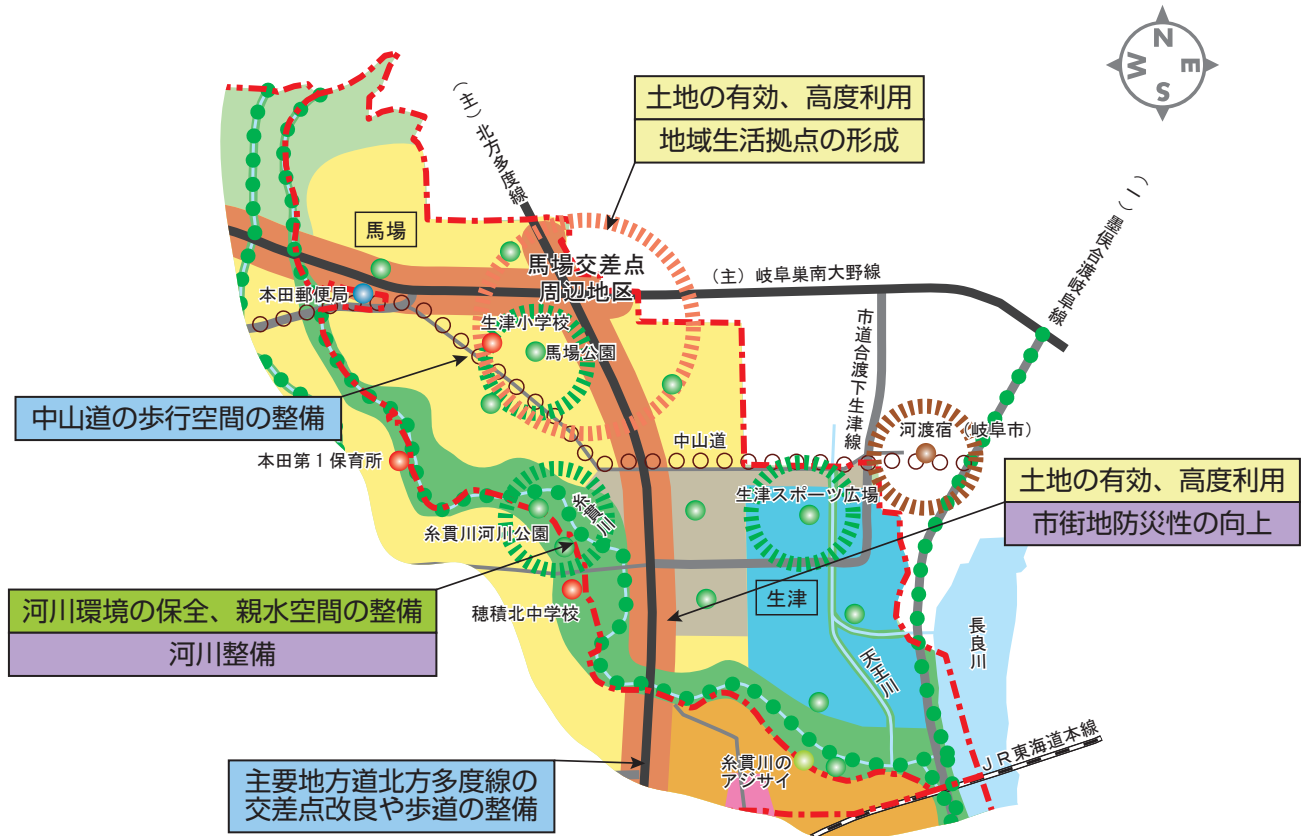
〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（周辺、郊外居住）	地域中部、北部	
	住工共存地	地域南部	
	工業地	地域南東部	
	沿道複合地	(主)北方多度線沿道、(主)岐阜県南大野線沿道	
	農地、集落地	地域北部	
	自然環境地	糸貫川	
道路、交通	幹線道路	(主)北方多度線 (主)岐阜県南大野線	
	公共交通	バス	岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線） みずほバス（本田・唐栗線）
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	馬場交差点周辺
		健康づくり拠点、市民交流拠点	馬場公園、生津スポーツ広場、糸貫川河川公園
		歴史、文化交流拠点	河渡宿（岐阜市）
	地域の暮らしに 密着した拠点	身近な防災拠点	生津小学校等
		身近な健康、交流拠点	馬場公園等
		身近な自然、交流拠点	糸貫川のアジサイ

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通 づくり	主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備	・幹線道路へのアクセス性向上や安全な歩行空間を形成するため、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光、交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
水、緑 づくり	河川環境（桜並木、緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、糸貫川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地 づくり	土地の有効、高度利用（馬場交差点周辺、幹線道路沿道、工業地、住工共存地）	・土地の有効、高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制、誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	地域生活拠点の形成（馬場交差点周辺）	・生活利便施設の維持、集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境 づくり （防災、景観、環境）	河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、糸貫川等の河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	・被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】

図 地域構造及び重点施策図（生津地域）



<地域全般に関する施策>

安全な歩行空間の整備(全体構想編P38参照)
公共交通の充実(全体構想編P39参照)
身近な緑地の保全、公共施設や民有地の緑化(全体構想編P42、43参照)
公共下水道の整備(全体構想編P43、43参照)
市街地環境の維持、保全(全体構想編P48参照)
橋梁の耐震化(全体構想編P52参照)
建築物の耐震化、不燃化(全体構想編P52、53参照)
景観計画の策定(全体構想編P53、54参照)

凡例

住宅地(街なか居住)	地域生活拠点	幹線道路
住宅地(周辺、郊外居住)	歴史、文化交流拠点	補助幹線道路
商業地	健康づくり拠点、市民交流拠点	その他の主要な生活道路
住工共存地	水と緑のネットワークの主軸	身近な防災拠点
工業地	歩行者ネットワーク(歴史街道)の主軸	身近な健康、交流拠点
沿道複合地	歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	身近な自然、交流拠点
農地、集落地		その他の施設
自然環境地		
河川		

〈地域重点施策の進め方〉

土地の有効、高度利用

地域生活拠点の形成

- 地域住民、事業者等とともに土地利用の規制、誘導の必要性の検討、方策等の作成
- ▼
- 土地利用のルール化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
 - 現状の生活利便施設が不足している場合などにおいては、適宜充足するための誘導方策等の検討、実施
- ▼
- 地域住民、事業者等による土地の有効、高度利用の実施、地域生活拠点の維持、活用

主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備

- 主要地方道北方多度線のアクセス性の向上や安全な歩行空間の確保に向けた検討
- ▼
- 計画に基づく交差点の改良や歩行空間の確保の実施

中山道の歩行空間の整備

- 中山道の整備計画の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保、整備

市街地防災性の向上

- 主要地方道北方多度線の沿道における耐震診断の実施及び実施に向けた啓蒙活動
- ▼
- 地域住民等による主要地方道北方多度線沿道の耐震化の促進

河川整備

河川環境の保全、親水空間の整備

- 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく糸貫川等の河川整備の促進
- ▼
- 糸貫川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第8章 本田地域のまちづくり構想



第8章 本田地域のまちづくり構想



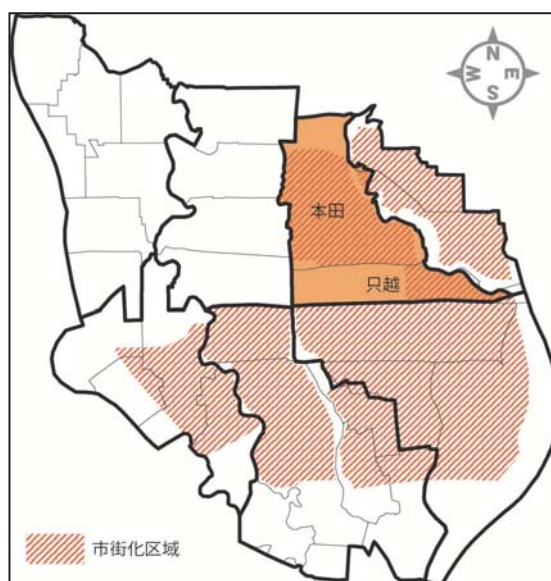
8-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北東部に位置し、本田及び只越地区が該当します。
- ・糸貫川と五六川に挟まれた位置にあり、東部には中川が流れています。
- ・鉄道は通っていませんが、只越地区はJR穂積駅に近接しています。
- ・主要な道路としては、主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南大野線、市道本田別府線が通っています。
- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、8,525人（市全体の15.7%）で、平成22年～27年の人口増減は、597人の増（7.5%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、1,972人（市全体の18.7%）で、高齢化率は23.1%と、市平均（19.4%）より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、3,064世帯（市全体の14.6%）で、世帯人員は2.78人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約304haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約64%を占めています。

〈土地利用等の現況〉

- ・北部と南部は、田園地帯が広がるなど自然環境が豊かで、近年は人口流入が著しく、点状的な住宅建設が進んでいます。

- ・市道本田別府線沿道に小規模な商業施設、各所に大小さまざまな規模の工場が点在しています。他地域に比べ、商工業施設は少ない状況です。
- ・南東部のJR穂積駅に近い地域には住宅地が形成されていますが、駐車場などの低未利用地も多い状況です。
- ・本田団地によって、一団の住宅団地が形成されています。

〈都市施設等の現況〉

- ・都市計画道路は、3路線すべての整備が完了しています。都市計画決定された公園はありませんが、せせらぎ公園のほか、小規模な公園がいくつか整備されています。
- ・下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- ・主な公共施設としては、本田小学校、穂積北中学校、本田コミュニティセンター等が位置しています。
- ・面的整備は、本田団地が整備されています。
- ・JR穂積駅周辺の市街地は、狭あい道路や木造住宅が密集しており、災害の危険度が高くなっています。また、JR穂積駅周辺及び幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
- ・多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- ・定住意向は80.2%です。
- ・定住したい理由では、「交通の便が良い」という意見が多くなっています。
- ・定住したくない理由でも、「交通の便が良くない」という意見が多くなっていますが、市平均より低くなっています。その他の理由としては、「災害や犯罪が起こる危険性が高い」が多くなっています。
- ・今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

道路、公園、下水道などの公共インフラ整備

- ・現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

公園など憩いの場が少ない

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

- ・将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

穂積駅周辺のにぎわいを創出する

2. 地域づくりの主要課題

• JR穂積駅周辺における都市拠点にふさわしいまちづくりの推進（都市機能の維持、集積、土地の高度利用、交通結節点としての機能向上等）
• 幹線道路沿道などにおける生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積
• 低未利用地の計画的な活用（土地区画整理事業等）による住宅主体の良好な市街地環境の形成
• 河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
• 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）
• 本田延命地蔵など、中山道の往時をしのばせる集落環境（街並み）の保全、活用
• 田園風景の保全、活用

※導入編P8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 都市拠点：JR穂積駅周辺地区
- 交流拠点（健康づくり、市民交流）：せせらぎ公園、糸貫川河川公園
- 産業集積軸：主要地方道北方多度線、主要地方道岐阜県南大野線

8-2 地域づくりの方針

歴史、自然と調和し、良好な都市基盤を備えた地域づくり

- ◆五六川、糸貫川等の河川、中山道の往時をしのばせる街並みなどを活用し、地域の魅力向上と活性化を図ります。
- ◆JR穂積駅周辺、主要地方道岐阜県南大野線などの幹線道路沿道における商業、サービス、医療、福祉施設等の集積により、人口増加に対応した生活利便性の向上を図ります。
- ◆多面的機能を有する農地や河川等の自然環境に配慮した、低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えた住宅地の形成を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

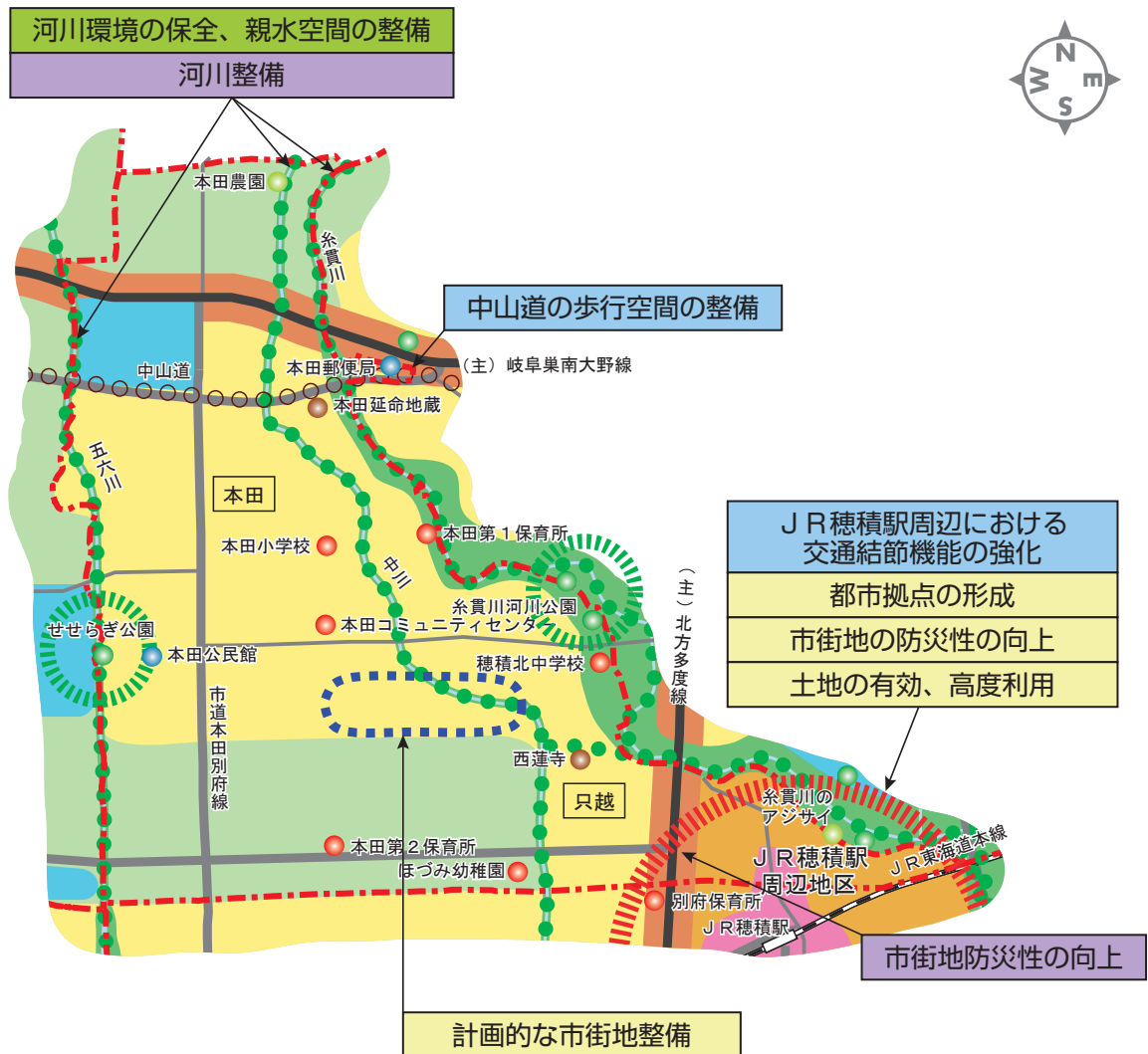
〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（街なか居住）	住宅地（周辺、郊外居住）	地域南東部 地域中部
	工業地		地域北西部
	沿道複合地		(主)北方多度線沿道、(主)岐阜県南大野線沿道
	農地、集落地		地域北部、南西部
	自然環境地		糸貫川
	道路、交通	幹線道路	(主)北方多度線 (主)岐阜県南大野線
公共交通		バス	岐阜バス（美江寺・穂積線、大野・穂積線） みずほバス（本田・唐栗線）
拠点	都市拠点レベル	都市拠点	JR 穂積駅周辺
		健康づくり拠点、市民交流拠点	せせらぎ公園、糸貫川河川公園
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	本田コミュニティセンター等
		身近な健康、交流拠点	せせらぎ公園等
		身近な歴史、文化拠点	本田延命地蔵等
		身近な自然、交流拠点	本田農園

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通 づくり	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道、休憩施設等の整備、誘導サインの設置等により、観光、交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	JR穂積駅周辺における交通結節機能の強化	・駅周辺の賑わい創出や交流拡大のため、駅前広場、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水、緑 づくり	河川環境（桜並木、緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、糸貫川、五六川、中川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地 づくり	市街地の防災性の向上（JR穂積駅周辺）	・地区計画制度等の活用により、狭あい道路の解消、オープンスペースの確保等、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	土地の有効、高度利用（JR穂積駅周辺）	・土地の有効、高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制、誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	計画的な市街地整備（土地区画整理事業等）	・まとまった低未利用地の計画的な活用により、都市基盤（道路、公園等）が整備された、良好な住宅地の形成を図ります。	【地域住民、市】
	都市拠点の形成（JR穂積駅周辺）	・地域住民、事業者、行政の連携による具体的計画のもと、まちの顔としてふさわしい都市機能（商業、交流、医療、福祉、中高層住宅等）の集積、都市空間、都市景観の形成、交通結節機能の向上等を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境 づくり （防災、景観、環境）	河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、中川等の河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	・被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】

図 地域構造及び重点施策図（本田地域）



凡例

住宅地(街なか居住)	都市拠点	幹線道路
住宅地(周辺、郊外居住)	健康づくり拠点、市民交流拠点	補助幹線道路
商業地	歩行者ネットワーク(歴史街道)の主軸	その他の主要な生活道路
工業地	歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	身近な防災拠点
沿道複合地		身近な健康、交流拠点
農地、集落地		身近な歴史、文化拠点
自然環境地		身近な自然、交流拠点
河川		その他の施設

<地域全般に関する施策>

安全な歩行空間の整備(全体構想編P38参照)
公共交通の充実(全体構想編P39参照)
公園の整備(全体構想編P42参照)
公共下水道の整備(全体構想編P43、44参照)
農地の保全(全体構想編P43参照)
市街地環境の維持、保全(全体構想編P48参照)
橋梁の耐震化(全体構想編P52参照)
建築物の耐震化、不燃化(全体構想編P52、53参照)
景観計画の策定(全体構想編P53、54参照)

〈地域重点施策の進め方〉

J R穂積駅周辺における交通結節機能の強化	都市拠点の形成	市街地の防災性の向上	土地の有効、高度利用
-----------------------	---------	------------	------------

- 公共交通ネットワークと連携したJ R穂積駅周辺整備構想の検討、作成
- ▼
- 地域住民、地権者等とともにJ R穂積駅周辺整備に向けた具体事業の計画検討、作成及び土地利用の規制、誘導の必要性の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともにJ R穂積駅周辺整備の実施
- 地域住民、事業者等による市街地の防災性の向上及び土地の有効、高度利用の実施

中山道の歩行空間の整備

- 中山道の整備計画の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保、整備

計画的な市街地整備

- 地域住民、権利者等とともに事業化に向けた合意形成、計画の検討、作成
- ▼
- 計画の実現化に向けた事業計画の手続きの推進
- ▼
- 市街地整備事業の実施

市街地防災性の向上

- 主要地方道北方多度線の沿道における耐震診断の実施及び実施に向けた啓蒙活動
- ▼
- 地域住民等による主要地方道北方多度線沿道の耐震化の促進

河川整備

河川環境の保全、親水空間の整備

- 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく中川等の河川整備の促進
- ▼
- 中川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第9章 穂積地域のまちづくり構想



第9章 穂積地域のまちづくり構想



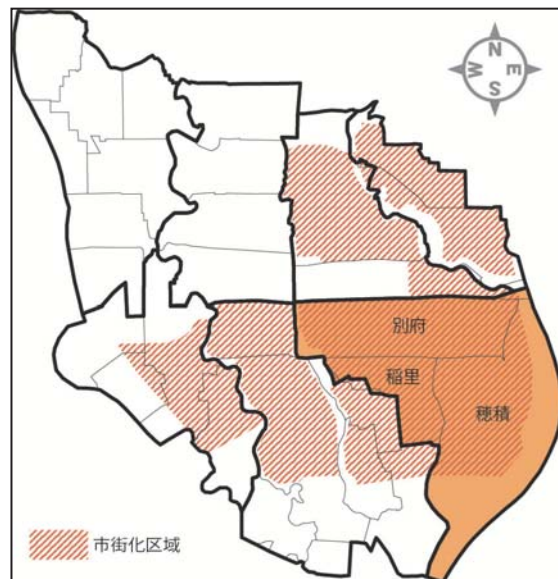
9-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市東部に位置し、別府、稲里及び穂積地区が該当します。
- ・長良川と五六川に挟まれた位置にあり、中央に中川が流れています。
- ・北部にJR東海道本線が通っており、JR穂積駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多度線が通っており、交通の便が良い地域です。また、岐阜南部横断ハイウェイの整備構想があります。
- ・バスは、岐阜バス（大野・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線、十九条・古橋線、牛牧・穂積線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、14,535人（市全体の26.7%）で、最も人口が多い地域ですが、平成22年～27年の人口増減は、287人の増（2.0%増加）となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、2,864人（市全体の27.1%）で、高齢化率は19.7%と、市平均（19.4%）と同程度の地域です。
- ・平成27年の世帯数は、6,394世帯（市全体の30.4%）で、市内で最も世帯数が多い地域ですが、世帯人員は2.27人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より少なくなっています。
- ・面積は約588haと市内で最も大きく、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域の占める割合も、約70%と高くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・JR穂積駅周辺は市街化が進んでおり、住宅や小規模な商業施設が集積していますが、駐車場などの低未利用地も多く、商業用地の減少が目立っています。

- ・国道21号や主要地方道北方多度線等の幹線道路沿道には、大規模商業施設が建ち並び、工場跡地には新たな複合型商業施設が立地するなど、沿道利用が進んでいます。また、沿道開発に伴い、周辺では、住宅建設が進んでいます。
- ・西部の国道21号やJR東海道本線の沿線には、大小さまざまな規模の工場が集積しており、周辺では住環境と操業環境が混在した土地利用がみられます。
- ・南部は、優良農地が広がるなど、豊かな自然環境が残っています。

〈都市施設等の現況〉

- ・都市計画道路は、7路線すべての整備が完了しています。都市計画決定された公園はありませんが、柳一色公園のほか、小規模な公園がいくつか整備されています。
- ・下水道は、別府地区でコミュニティ・プラントが整備されていますが、その他の地区は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- ・主な公共施設としては、市役所、総合センター、保健センター、市民センター、図書館等、多数の施設が位置し、本市の中心的な機能を有しています。そのほか、穂積小学校、穂積中学校、朝日大学が位置しています。
- ・JR穂積駅周辺の市街地は、狭あい道路や木造住宅が密集しており、災害の危険性が高くなっています。また、JR穂積駅周辺及び幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
- ・多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有していますが、過去に浸水による大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- ・定住意向は78.7%です。
- ・定住したい理由では、「交通の便が良い」という意見が多くなっています。
- ・定住したくない理由では、「近所づきあいや人間関係が良くない」、「まちに愛着がない」という意見が多くなっています。
- ・今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

高齢者対策

- ・現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

公園など憩いの場が少ない

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

- ・将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

穂積駅周辺のにぎわいを創出する

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

2. 地域づくりの主要課題

• JR穂積駅周辺における都市拠点にふさわしいまちづくりの推進（都市機能の維持、集積、土地の高度利用、交通結節点としての機能向上等）
• 朝日大学周辺における学術研究拠点及び地域生活拠点の形成に向け、医療、福祉施設等に加え、生活に身近な商業、サービス施設の維持、誘導、集積
• 地域特性に応じた用途の見直しによる住環境と操業環境の調和
• 都市間、拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの強化
• 河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
• 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり（災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等）

※導入編P8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 都市拠点：JR穂積駅周辺地区
- 地域生活拠点、学術研究拠点：朝日大学周辺地区
- 交流拠点（市民交流）：朝日大学グラウンド
- 交流拠点（歴史、文化交流）：墨俣一夜城（大垣市）
- 産業集積軸：国道21号、主要地方道北方多度線
- 主要な防災活動拠点：市役所

9-2 地域づくりの方針

まちの顔として多様な都市機能が集積した、賑わいと交流が生まれる地域づくり

- ◆ JR穂積駅周辺において、まちの顔としてふさわしい都市機能の集積、交通結節機能の強化、都市空間整備を推進し、多様な交流を促進します。
- ◆ 交通利便性の高さを活かし、国道21号や主要地方道北方多度線などの幹線道路沿道において、都市活力の向上に資する産業（商業、工業、流通、業務等）の集積を図ります。
- ◆ 都市基盤（公園、緑地、下水道等）の整備推進や、用途混在の解消や操業環境との調和、市街地の防災性の向上により、安全で快適な住環境への改善を推進します。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（街なか居住）	地域北東部	
	住宅地（周辺、郊外居住）	地域北西部、中部	
	商業地	ＪＲ穂積駅周辺（地域北東部）	
	工業地	地域西部	
	沿道複合地	国道２１号沿道、(主)北方多度線沿道	
	農地、集落地	地域南部	
	自然環境地	長良川、五六川	
道路、交通	幹線道路	国道２１号、岐阜南部横断ハイウェイ、(主)北方多度線、(市)穂積鷺田橋線	
	公共交通	鉄道	ＪＲ東海道本線（ＪＲ穂積駅）
		バス	岐阜バス（大野・穂積線） みずほバス （十九条・古橋線、本田・唐栗線、牛牧・穂積線）
拠点	都市拠点レベル	都市拠点	ＪＲ穂積駅周辺
		地域生活拠点、学術研究拠点	朝日大学周辺
		健康づくり拠点、市民交流拠点	(仮称)天王川スポーツ公園
		歴史、文化交流拠点	墨俣一夜城（大垣市）
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	市民センター、総合センター等
		身近な健康、交流拠点	公園等
		身近な歴史、文化拠点	図書館、観音院等
	身近な自然、交流拠点	中川（しづがき）、五六川（いかりがき）	

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ、国道２１号の整備	• 活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全６車線化等の整備を促進します。	【国】
	主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備	• ＪＲ穂積駅周辺へのアクセス性向上や安全な歩行空間を形成するため、整備を促進します。	【県】
	ＪＲ穂積駅周辺における交通結節機能の強化	• 駅周辺の賑わい創出や交流拡大のため、駅前広場、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水、緑づくり	河川環境（桜並木、緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	• 水と緑のネットワークの主軸として、五六川、中川、天王川等の自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地づくり	市街地の防災性の向上（ＪＲ穂積駅周辺等）	• 地区計画制度等の活用により、狭あい道路の解消、オープンスペースの確保等、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	土地の有効、高度利用（ＪＲ穂積駅周辺、朝日大学周辺、幹線道路沿道、住工共存地）	• 土地の有効、高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制、誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	計画的な市街地整備などによる都市拠点の形成（ＪＲ穂積駅周辺）	• 地域住民、事業者、行政の連携による具体的計画のもと、まちの顔としてふさわしい都市機能（商業、交流、医療、福祉、中高層住宅等）の集積、都市空間、都市景観の形成、交通結節機能の向上等を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	地域生活拠点、学術研究拠点の形成（朝日大学周辺）	• 産学官の連携のもと、学術研究機能の強化、健康、医療、福祉産業等の集積、生活利便施設の立地誘導等、地区計画制度等の活用により、学術研究拠点の形成とともに若者が魅力を感じる地域生活拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	河川整備	• 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、中川、天王川等の河川整備を促進します。	【県】
	市街地防災性の向上（緊急輸送道路沿道等）	• 被災時に防災拠点間を連絡する緊急輸送道路沿道の耐震化や木造住宅密集地の耐震化を促進し、市街地の防災性向上を図ります。	【地域住民、市】
	防災活動拠点の防災機能の向上（市役所等）	• 防災活動拠点である公共施設などの防災機能の向上を図ります。	【市】

図 地域構造及び重点施策図（穂積地域）



〈地域重点施策の進め方〉

J R穂積駅周辺における交通結節機能の強化	計画的な市街地整備などによる都市拠点の形成	市街地の防災性の向上	土地の有効、高度利用
-----------------------	-----------------------	------------	------------

- ・公共交通ネットワークと連携したJ R穂積駅周辺整備構想の検討、作成
- ▼
- ・地域住民、事業者等とともにJ R穂積駅周辺整備に向けた具体事業の計画検討、作成及び土地利用の規制、誘導の必要性の検討、作成
- ▼
- ・地域住民等とともにJ R穂積駅周辺整備の実施
- ・地域住民、事業者等による市街地の防災性の向上及び土地の有効、高度利用の実施

岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備

- ・岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の計画の検討、作成
- ▼
- ・計画に基づく路線設計及び整備の実施

主要地方道北方多度線の交差点改良や歩道の整備

- ・主要地方道北方多度線のアクセス性の向上や安全な歩行空間の確保に向けた検討
- ▼
- ・計画に基づく交差点の改良や歩行空間の確保の実施

地域生活拠点、学術研究拠点の形成	土地の有効、高度利用
------------------	------------

- ・学術研究拠点の充実に向けた事業者との協議、検討
- ▼
- ・事業者及び周辺の地域住民等とともに土地利用の規制、誘導の必要性の検討、方策等の作成
- ・計画の実現化及び地区計画制度等の活用に向けた都市計画法等の手続きの推進
- ▼
- ・事業者による学術研究拠点の整備の実施
- ・地域住民、事業者等による土地の有効、高度利用の実施

市街地防災性の向上

- ・主要地方道北方多度線の沿道における耐震診断の実施及び実施に向けた啓蒙活動
- ▼
- ・地域住民等による主要地方道北方多度線沿道の耐震化の促進

河川整備	河川環境の保全、親水空間の整備
------	-----------------

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく中川、天王川等の河川整備の促進
- ▼
- ・中川、天王川等の河川的环境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

防災活動拠点の防災機能の向上

- ・公共公益施設などの防災機能の検証
- ▼
- ・公共公益施設などの防災機能向上に向けた整備の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第10章 牛牧地域のまちづくり構想



第10章 牛牧地域のまちづくり構想



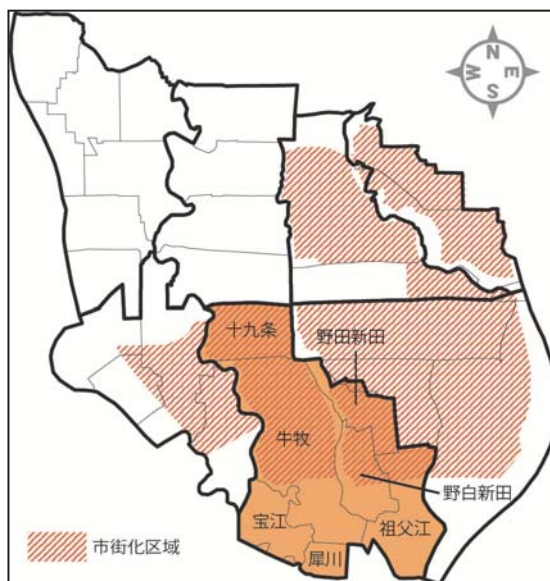
10-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- 市南部に位置し、十九条、牛牧、野田新田、野白新田、祖父江、宝江及び犀川地区が該当します。
- 犀川、中川、五六川、新堀川、宝江川等、多く河川が集まる位置にあり、南部には犀川遊水地が整備されています。
- 北部にJR東海道本線が通っていますが、駅は立地していません。西部に樽見鉄道が通っており、十九条駅が立地しています。
- 主要な道路としては、国道21号、主要地方道北方多度線、一般県道美江寺西結線が通っています。また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。
- バスは、みずほバス（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）が通っています。

図 地域の位置



〈面積及び人口〉

- 平成27年の人口は、12,144人（市全体の22.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、662人の増（5.8%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- 平成27年の高齢者数は、2,018人（市全体の19.1%）で、高齢化率は16.6%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- 平成27年の世帯数は、4,967世帯（市全体の23.7%）で、世帯人員は2.44人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より低くなっています。
- 面積は約559haで、全域が都市計画区域に指定され、市街化区域が約50%を占めています。

〈土地利用等の現況〉

- 近年は人口流入が著しく、住宅建設など、宅地化が急速に進んでいます。
- 国道21号周辺やJR東海道本線の北側では、幹線道路沿道を中心に大小さま

ざまな規模の商業施設や工場が立地しており、点在的な住宅開発の増加により、住商工の土地利用の混在が進んでいます。

- 南部は、犀川の周辺に優良農地が広がるなど、自然環境が豊かです。
- 新たな工場の建設が進んでいます。また、犀川周辺地区では土地区画整理事業が実施され、大規模商業施設の立地に伴う住宅建設が進んでいます。
- 牛牧団地によって、一団の住宅団地が形成されています。

〈都市施設等の現況〉

- 都市計画道路は、5路線が計画決定されていますが、一部区間を除き整備が完了しています。都市計画決定された公園はありませんが、五六川親水公園、さい川さくら公園など大規模な公園が整備され、新たな公園の整備も進んでいます。
- 下水道は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、牛牧小学校、牛牧北部防災コミュニティセンター、牛牧南部コミュニティセンターつどいの泉等が位置しています。
- 面的整備は、犀川堤外地の土地区画整理事業及び牛牧団地が整備されています。
- 市街化が進行中ですが、一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。また、幹線道路沿道は準防火地域に指定されています。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有していますが、過去に浸水による大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。
- 牛牧閘門など、歴史を感じさせる史跡を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- 定住意向は82.6%です。
- 定住したい理由では、「交通の便が良い」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由でも、「交通の便が良くない」という意見が多くなっていますが、市平均より低くなっています。その他の理由としては、「買い物や外食が不便」や「趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない」などが多くなっています。
- 今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

高齢者対策

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

子育て、医療、福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない

- 将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

空き地や未利用地などの有効利用を促進する

2. 地域づくりの主要課題

• 犀川周辺地区や十九条駅周辺地区における生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積
• 地域特性に応じた用途の見直しによる住環境と操業環境の調和
• 都市間、拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成 (未整備の都市計画道路、市道等の整備)
• 牛牧閘門などの歴史的建造物、田園地帯や犀川遊水地等の自然環境の保全、活用
• 河川の自然、親水環境の保全、活用(公園、散策路等)、治水対策の推進
• 巨大地震や集中豪雨による甚大な被害に備えた、減災を考慮した地域づくり(災害に強い市街地整備、都市基盤の防災機能強化等)

※導入編P8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 地域生活拠点：犀川周辺地区、十九条駅周辺地区
- 交流拠点(健康づくり、市民交流)：五六川親水公園、さい川さくら公園
- 交流拠点(歴史、文化交流)：牛牧閘門
- 産業集積軸：国道21号
- 主要な防災活動拠点：牛牧グラウンド周辺、牛牧北部防災コミュニティセンター

10-2 地域づくりの方針

豊かな自然と調和し、安全で快適に暮らし続けられる地域づくり

- ◆河川(犀川、五六川等)や犀川遊水地の自然環境、田園風景等と調和した計画的な土地利用を推進します。
- ◆犀川周辺地区や十九条駅周辺地区、幹線道路沿道等において、生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の集積を図るとともに、用途混在の解消や操業環境との調和、市街地の防災性の向上や治水対策の推進により、安全で快適な住環境の形成を図ります。
- ◆交通利便性の高さを活かし、国道21号などの幹線道路沿道において、都市活力の向上に資する産業(商業、工業、流通、業務等)の集積を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

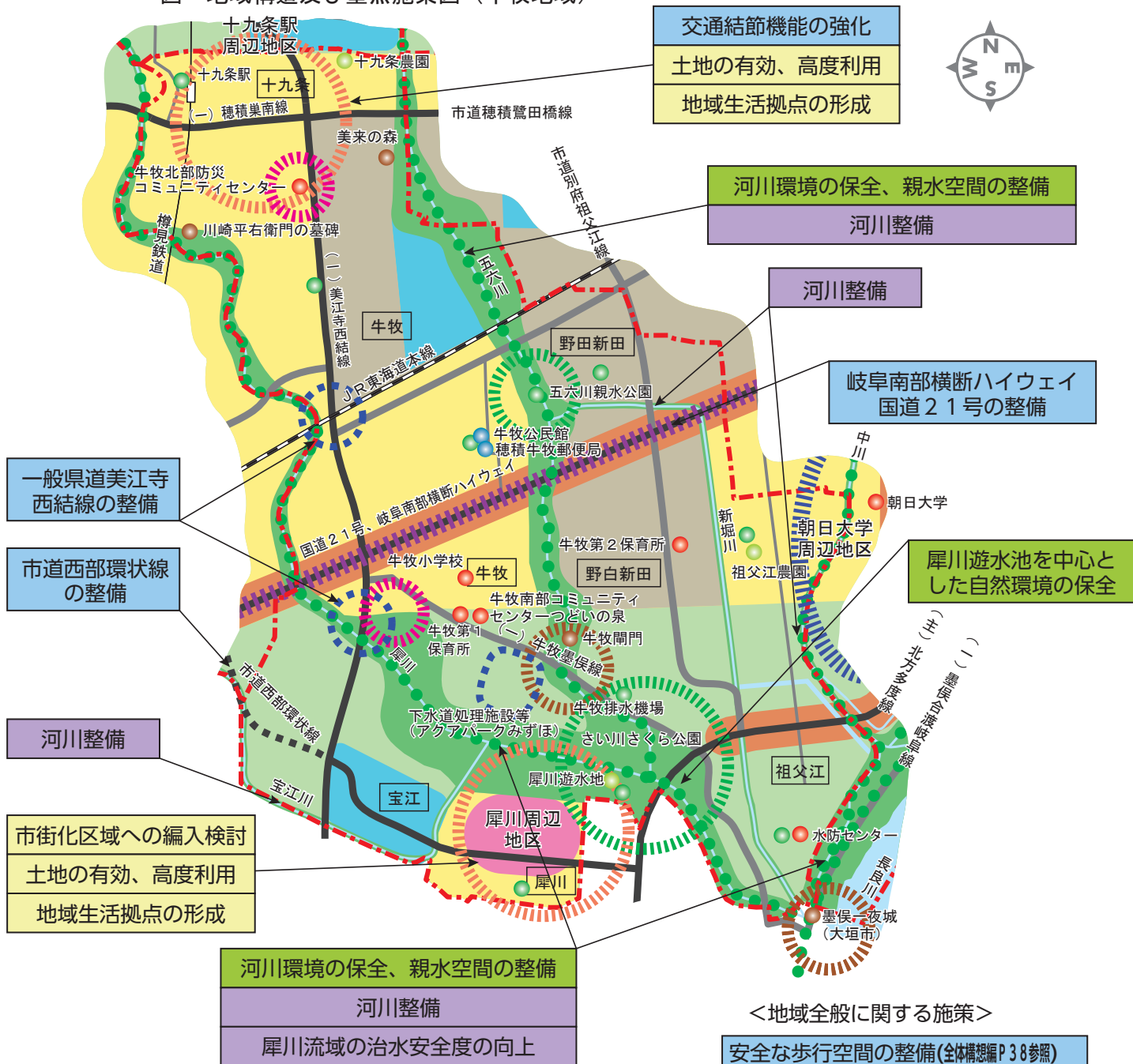
〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（周辺、郊外居住）	地域北西部、中部	
	商業地	犀川地区（地域南部）	
	住工共存地	地域北部、中部	
	工業地	地域北部、南西部	
	沿道複合地	国道21号沿道、（主）北方多度線沿道	
	農地、集落地	地域南部	
	自然環境地	長良川、五六川、犀川	
道路、交通	幹線道路	国道21号、岐阜南部横断ハイウェイ、（主）北方多度線、（一）美江寺西結線、（一）穂積栄南線、（市）穂積鷺田橋線、（市）西部環状線	
	公共交通	鉄道	樽見鉄道（十九条駅）
		バス	みずほバス（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	犀川周辺地区、十九条駅周辺地区
		健康づくり拠点、市民交流拠点	五六川親水公園、さい川さくら公園
		歴史、文化交流拠点	牛牧閘門、墨俣一夜城（大垣市）
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災流拠点	牛牧北部防災コミュニティセンター等
		身近な健康、交流拠点	五六川親水公園等
		身近な自然、交流拠点	犀川遊水地等

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全6車線化等の整備を促進します。	【国】
	市道西部環状線の整備	・南西部の地域生活拠点を連絡し、地域間を結ぶ道路として、整備を推進します。	【市】
	一般県道美江寺西結線の整備（JR高架下、忠太橋付近）	・幹線道路や緊急輸送道路としての機能を確保するため、未整備区間の整備を促進します。	【事業者、県】
	交通結節機能の強化	・地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所やアクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【地域住民、事業者、市】
水、緑づくり	河川環境（桜並木、緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	・水と緑のネットワークの主軸として、犀川、五六川、中川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	犀川遊水地を中心とした自然環境の保全	・優れた生態系を有する自然環境の保全、再生を図ります。	【地域住民、国、県、市】
市街地づくり	土地の有効、高度利用（犀川周辺、十九条駅周辺、幹線道路沿道、工業地、住工共存地）	・土地の有効、高度利用による産業集積と良好な住環境の保全との両立を図るため、地区計画制度等の活用による、きめ細やかな土地利用の規制、誘導を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	市街化区域への編入検討（犀川周辺）	・土地の有効、高度利用と良好な市街地環境の形成を図るため、市街化区域への編入を検討します。	【市】
	地域生活拠点の形成（犀川周辺、十九条駅周辺）	・生活利便施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	河川整備	・犀川、五六川、新堀川、犀川遊水地等の河川改修及び適正な維持、管理を促進します。	【国、県】
	犀川流域の治水安全度の向上（牛牧排水機場等）	・大雨による洪水被害を防止するため、排水機場の整備を促進し、治水安全度の向上を図ります。	【国、市】

図 地域構造及び重点施策図（牛牧地域）



<地域全般に関する施策>

- 安全な歩行空間の整備(全体構想編P38参照)
- 公共交通の充実(全体構想編P39参照)
- 身近な公園の整備(全体構想編P42参照)
- 公共下水道の整備(全体構想編P43、44参照)
- 農地の保全(全体構想編P43参照)
- 市街地環境の維持、保全(全体構想編P48参照)
- 橋梁の耐震化(全体構想編P52参照)
- 建築物の耐震化、不燃化(全体構想編P52、53参照)
- 景観計画の策定(全体構想編P53、54参照)

凡例

住宅地(周辺、郊外居住)	学術研究拠点	広域幹線道路
商業地	地域生活拠点	幹線道路
住工共存地	歴史、文化交流拠点	幹線道路(構想区間)
工業地	健康づくり拠点、市民交流拠点	補助幹線道路
沿道複合地	主要な防災活動拠点	その他の主要な生活道路
農地、集落地	歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	身近な防災拠点
自然環境地		身近な健康、交流拠点
河川		身近な歴史、文化拠点
		身近な自然、交流拠点
		その他の施設

〈地域重点施策の進め方〉

岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備

- ・岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の計画の検討、作成
- ▼
- ・計画に基づく路線設計及び整備の実施

一般県道美江寺西結線の整備

市道西部環状線の整備

- ・一般県道美江寺西結線の未整備区間の整備に向けた関係機関（JR）との協議、検討
- ▼
- ・一般県道美江寺西結線の未整備区間の整備の実施

- ・市道西部環状線の計画の検討、作成
- ▼
- ・市道西部環状線の計画に基づく路線設計、用地買収等及び整備の実施

交通結節機能の強化

地域生活拠点の形成

土地の有効、高度利用

市街化区域への編入検討

- ・地域住民、事業者等とともに、公共交通ネットワークと連携した十九条駅周辺等における地域生活拠点の形成に向けた方策の検討、計画作成
- ▼
- ・十九条駅周辺等の計画の実現化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
- ・犀川周辺の市街化区域編入に向けた都市計画法等に基づく手続きの促進
- ▼
- ・地域住民、事業者等による土地の有効、高度利用の実施

河川整備

河川環境の保全、親水空間の整備

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく犀川、五六川、新堀川等の河川整備の促進
- ▼
- ・犀川、五六川、新堀川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

犀川流域の治水安全度の向上

犀川遊水地を中心とした自然環境の保全

- ・国、県、市、地域住民等とともに、犀川遊水地を中心とした自然環境の保全、再生及び治水安全度の向上に向けた協議、検討
- ▼
- ・犀川遊水地の自然環境の保全及び治水安全度向上に向けた対策の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第11章 南地域のまちづくり構想



第11章 南地域のまちづくり構想



11-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・南西部に位置し、呂久、古橋、中宮、及び横屋地区が該当します。
- ・呂久地区の一部が揖斐川の西側に位置していますが、その他は揖斐川と犀川に挟まれた位置にあり、南西部に宝江川が流れています。
- ・南部にJR東海道本線、南北に樽見鉄道が通っており、樽見鉄道の横屋駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、国道21号、一般県道曾井中島美江寺大垣線、一般県道穂積栄南線が通っています。

また、岐阜南部横断ハイウェイ構想があるほか、市道西部環状線の整備が進んでいます。

- ・バスは、みずほバス（十九条・古橋線）が通っています。

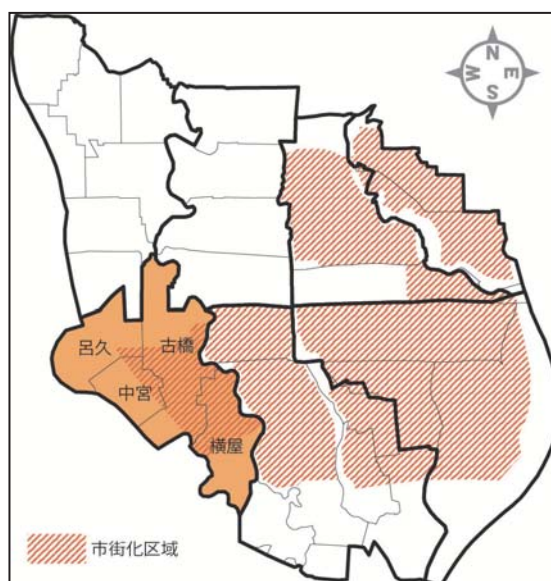
〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、6,143人（市全体の11.3%）で、平成22年～27年の人口増減は、678人の増（12.4%増加）と、市平均増加率（4.6%）より増加率が高い地域です。
- ・平成27年の高齢者数は、948人（市全体の9.0%）で、高齢化率は15.4%と、市平均（19.4%）より低い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、2,044世帯（市全体の9.7%）で、世帯人員は3.01人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より多くなっています。
- ・面積は約342haで、ほぼ全域が都市計画区域に指定されていますが、市街化区域の占める割合は、約38%と低くなっています。

〈土地利用等の現況〉

- ・樽見鉄道横屋駅の西側では、住宅建設が進み、まとまった住宅地が形成されつ

図 地域の位置



つあります。

- 北部の幹線道路沿道に小規模な商業施設が点在しています。
- 揖斐川の西側に位置する呂久地区には、中山道が通り、小簾紅園が位置するなど、歴史を感じさせる景観が残る集落地が形成されています。
- 市街化調整区域には、優良農地が広がり、自然環境が豊かです。

〈都市施設等の現況〉

- 都市計画道路は1路線の整備が完了しています。都市計画決定された公園はありませんが、小簾紅園があります。
- 下水道は、呂久地区で農業集落排水処理事業により整備されていますが、その他の地区は未整備で、公共下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、南小学校、巢南中学校、南ふれあい広場等が位置しています。
- 横屋駅南側の地域(市街化区域内)においては、計画的な市街化が進んでおらず、低密度な地域となっています。また、一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有していますが、過去に浸水による大きな被害を受けるなど、水害の危険性が非常に高い地域です。

〈市民アンケート調査結果〉(瑞穂市第2次総合計画より)

- 定住意向は74.8%です。
- 定住したい理由では、「住み慣れていて愛着がある」、「災害や犯罪が少ない」や「自然が多くまちの環境が良い」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由では、「交通の便が良くない」、「買い物や外食が不便」、「子育てがしやすい環境が充実していない」という意見が多くなっています。
- 今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

高齢者対策

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

買い物や食事、娯楽を楽しめる場が少ない

- 将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

空き地や未利用地など有効利用を促進する

2. 地域づくりの主要課題

• 国道21号周辺における生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積
• 低未利用地や幹線道路沿道等の計画的な活用（土地区画整理事業等）による商工業系土地利用の誘導、集積
• 都市間、拠点間をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成（未整備の市道等の整備）
• 国道21号と市道西部環状線の早期ネットワーク化に向けた整備
• 樽見鉄道横屋駅へのアクセスの向上
• 河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
• 小簾紅園など、中山道の往時をしのばせる集落環境（街並み）の保全、活用
• 集中豪雨などによる洪水被害を防止するための内水対策の整備

※導入編P8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- 地域生活拠点：国道21号沿道周辺地区
- 交流拠点（健康づくり、市民交流）：南ふれあい広場
- 交流拠点（歴史、文化交流）：小簾紅園
- 産業集積軸：国道21号

11-2 地域づくりの方針

活力ある産業集積を備え、歴史、自然と調和した 新たな魅力を生み出す地域づくり

- ◆都市間、拠点間の連絡を強化する市道西部環状線の整備を推進するとともに、国道21号沿道では、周辺環境との調和に配慮しながら、商業機能、住居機能等を形成する土地利用を検討します。
- ◆公共交通を活かすため、横屋駅周辺を中心とした低未利用地の計画的な活用により、良好な都市基盤を備えた住宅地の形成を図ります。
- ◆小簾紅園など中山道の往時をしのばせる歴史的資源、河川（揖斐川、犀川）や農地の自然環境の保全、活用を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	住宅地（周辺、郊外居住）	地域中部、南部	
	沿道複合地	国道21号沿道	
	農地、集落地	地域北部、西部、南部	
	自然環境地	揖斐川	
道路、交通	幹線道路	国道21号、岐阜南部横断ハイウェイ (一)曾井中島美江寺大垣線 (一)穂積兼南線 (市)西部環状線	
	公共交通	鉄道	樽見鉄道（横屋駅）
		バス	みずほバス（十九条・古橋線）
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	国道21号沿道周辺地区
		健康づくり拠点、市民交流拠点	南ふれあい広場
		歴史、文化交流拠点	小簾紅園
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	南小学校等
		身近な健康、交流拠点	南ふれあい広場等
	身近な歴史、文化拠点	小簾紅園	

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通づくり	岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備	• 活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、完全6車線化等の整備を促進します。	【国】
	市道西部環状線の整備	• 南西部の地域生活拠点を連絡し、地域間を結ぶ道路として、整備を推進します。	【市】
	中山道の歩行空間の整備	• 中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光、交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	交通結節機能の強化	• 地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所やアクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【地域住民、事業者、市】
水、緑づくり	河川環境（桜並木、緑地）の保全、親水空間の整備（散策路等）	• 水と緑のネットワークの主軸として、犀川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
市街地づくり	計画的な市街地整備（未利用地地区）	• 駅等の交通結節機能と低未利用地の計画的な活用により、都市基盤（道路、公園）が整備された良好な住宅地等の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	計画的な新市街地の形成と市街化区域への編入検討（国道21号沿道周辺）	• 国道21号や幹線道路、駅が交わる地理的条件を活かし、土地区画整理事業等により土地の有効、高度利用と良好な市街地環境の形成を図るため、市街化区域への編入を検討します。	【地域住民、事業者、市】
	地域生活拠点の形成（国道21号沿道周辺）	• 交通結節機能の向上等を図り、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり（防災、景観、環境）	河川整備	• 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、犀川、宝江川等の河川整備を促進します。	【県】
	小簾紅園の保全、活用	• 歴史的な街並みや祭り等の伝統文化を保全するとともに、観光、交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、市】
	市街地の治水安全度の向上	• 大雨による洪水被害を防止するため、内水対策を検討し、その整備を推進します。	【市】

図 地域構造及び重点施策図（南地域）



中山道の歩行空間の整備

河川環境の保全、親水空間の整備
河川整備

交通結節機能の強化
計画的な市街地の形成と市街地への編入検討
計画的な市街地整備
地域生活拠点の形成

小簾紅園の保全、活用

市街地の治水安全度の向上

市道西部環状線の整備

岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備

河川整備

<地域全般に関する施策>

- 安全な歩行空間の整備(全体構想編P38参照)
- 公共交通の充実(全体構想編P39参照)
- 身近な公園の整備(全体構想編P42参照)
- 公共下水道の整備(呂久地区西部除く)(全体構想編P43、44参照)
- 農地の保全(全体構想編P43参照)
- 市街地環境の維持、保全(全体構想編P48参照)
- 橋梁の耐震化(全体構想編P52参照)
- 建築物の耐震化、不燃化(全体構想編P52、53参照)
- 景観計画の策定(全体構想編P53、54参照)

凡例

住宅地(周辺、郊外居住)	地域生活拠点	広域幹線道路
住工共存地	歴史、文化交流拠点	幹線道路
沿道複合地	健康づくり拠点、市民交流拠点	幹線道路(構想区間)
農地、集落地	歩行者ネットワーク(歴史街道)の主軸	補助幹線道路
自然環境地	歩行者ネットワーク(沿川等)の主軸	その他の主要な生活道路
河川	身近な防災拠点	身近な健康、交流拠点
	身近な歴史、文化拠点	その他の施設
		その他の施設

〈地域重点施策の進め方〉

計画的な市街地の形成と市街化区域への編入検討

- 地域住民、権利者等とともに計画の検討、合意形成
- ▼
- 計画の実現に向けた事業計画の手続きの推進
- 市街化区域編入に向けた都市計画法等に基づく手続きの促進
- ▼
- 市街地整備事業の実施

計画的な市街地整備

交通結節機能の強化

地域生活拠点の形成

- 地域住民、事業者等とともに、横屋駅周辺等における地域生活拠点の形成に向けた方策の検討、計画作成
- ▼
- 横屋駅周辺等の計画の実現化に向けた都市計画法に基づく手続きの促進
- ▼
- 地域住民、事業者等による土地の有効利用の実施

岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の整備

- 岐阜南部横断ハイウェイ、国道21号の計画の検討、作成
- ▼
- 計画に基づく路線設計及び整備の実施

市道西部環状線の整備

- 市道西部環状線の計画の検討、作成
(計画的な市街地の形成と市街化区域編入検討と同時)
- ▼
- 市道西部環状線の計画に基づく路線設計、用地買収等及び整備の実施

中山道の歩行空間の整備

- 中山道の整備計画の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保、整備

小簾紅園の保全、活用

- 地域住民等とともに小簾紅園の保全、活用に向けた対策の検討、作成
- ▼
- 小簾紅園の保全、活用の実施

河川整備

市街地の治水安全度の向上

河川環境の保全、親水空間の整備

- 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく犀川等の河川整備の促進
- 地域住民等とともに、治水安全度の向上に向けた協議、検討
- ▼
- 犀川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施及び治水安全度向上に向けた対策の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第12章 中地域のまちづくり構想



第12章 中地域のまちづくり構想



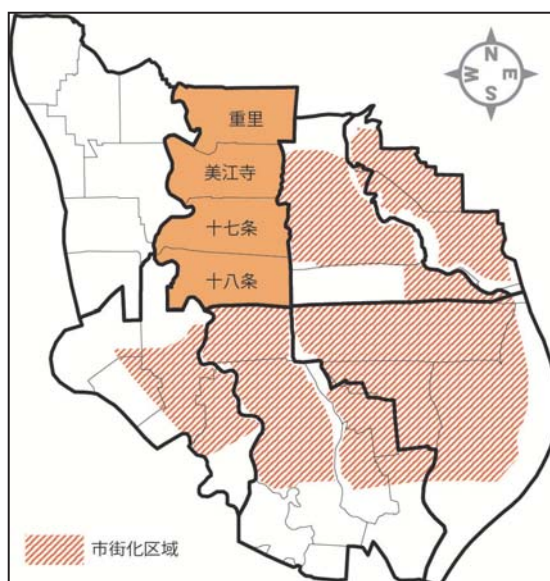
12-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北部に位置し、重里、美江寺、十七条及び十八条地区が該当します。
- ・犀川と五六川に挟まれた位置にあります。
- ・鉄道は樽見鉄道が通っており、美江寺駅が位置しています。
- ・主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線（バイパス含む）、一般県道曾井中島美江寺大垣線、一般県道美江寺西結線が通っています。また、主要地方道岐阜県南大野線バイパスは、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC へアクセスする路線として、計画、整備が進められています。

図 地域の位置



- ・バスは、岐阜バス（美江寺・穂積線）、みずほバス（本田・唐栗線）が通っています。

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、3,275人（市全体の6.0%）で、市内で最も人口が少なく、平成22年～27年の人口増減は、112人の減（3.3%減少）となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、986人（市全体の9.3%）で、高齢化率は30.1%と、市平均（19.4%）より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、1,093世帯（市全体の5.2%）で、市内で最も世帯数の少ない地域ですが、世帯人員は3.00人/世帯と、市平均（2.59人/世帯）より高くなっています。
- ・面積は約374haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

〈土地利用等の現況〉

- ・犀川と樽見鉄道の間は、まとまった集落地となっており、周囲には、柿畑などの

果樹園や花きの農地が広がっています。また、樽見鉄道の東側は、田園地帯が広がっています。田園地帯の一部では、住宅建設がみられますが、土地利用の変化は少なく、自然環境が豊かです。

- 田園地帯の南部には、工業導入地域として大規模な工場や運輸倉庫施設が集積していますが、商業施設は少なく、集落地の中に点在する程度です。
- 美江寺地区には、古くは美江寺宿が置かれ、歴史を感じさせる景観が残っています。

〈都市施設等の現況〉

- 公園としては犀川河川公園が整備されています。
- 下水道は未整備で、公共関連特環下水道による整備が計画されています。
- 主な公共施設としては、中小学校、中ふれあい広場等が位置しています。
- 一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- 定住意向は86.1%です。
- 定住したい理由では、「住み慣れていて愛着がある」、「自然が多くまちの環境が良い」や「災害や犯罪が少ない」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由では、「買い物や外食が不便」や「趣味や娯楽を楽しめる場が充実していない」という意見が多くなっています。
- 今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

道路、公園、下水道などの公共インフラ整備

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

買い物や食事、娯楽を楽しめる場が少ない

- 将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

道路、公園、上下水道などの整備を進め、良好な住環境を形成する

空き地や未利用地など有効利用を促進する

2. 地域づくりの主要課題

・人口減少対策の強化(人口の維持、確保、産業の誘致等による働く場の創出)
・地域の実情を踏まえた土地利用規制等の運用、見直し
・柿畑などの果樹園や花き生産農地、水田等の計画的な保全、整備による農業の振興
・幹線道路沿道などにおける生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積
・都市間、拠点間、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成（未整備の県道、市道等の整備）
・美江寺宿など、中山道の往時をしのばせる集落環境（街並み）、河川等の自然環境の保全、活用
・河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進

※導入編P 8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- ・地域生活拠点：棠南庁舎周辺地区
- ・交流拠点（健康づくり、市民交流）：中ふれあい広場
- ・交流拠点（歴史、文化交流）：美江寺宿
- ・産業集積軸：主要地方道岐阜棠南大野線バイパス

12-2 地域づくりの方針

農、住、工の機能調和と歴史、文化の活用による、 個性豊かな地域づくり

- ◆生活基盤（道路、下水道等）の整備により住環境の改善を図るとともに、幹線道路沿道などにおいて、生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の集積を促し、生活利便性の向上を図ります。
- ◆農地の保全による農業の振興と一団の工場の操業環境を維持するため、必要な都市計画制度の検討を行います。
- ◆美江寺宿などの歴史的景観や地域資源の保全、活用により、観光、交流機能を強化し、地域の活性化を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

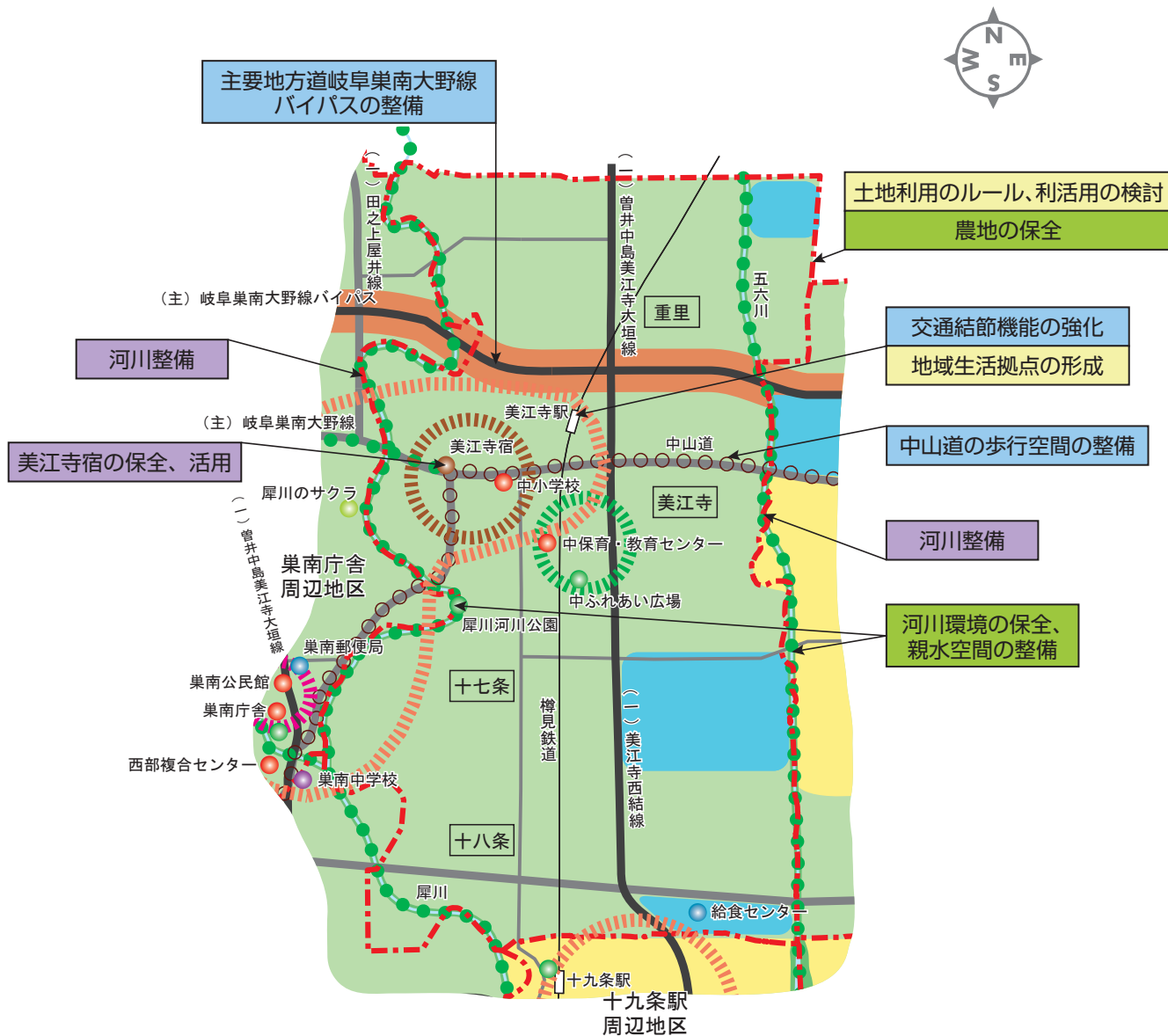
〈地域構造〉

分野		内容															
土地利用		工業地	地域中東部、南東部														
		沿道複合地	(主)岐阜県南大野線バイパス沿道														
		農地、集落地	上記以外														
道路、交通	幹線道路	(主)岐阜県南大野線バイパス (一)曾井中島美江寺大垣線 (一)美江寺西結線															
		公共交通	<table border="0"> <tr> <td>鉄道</td> <td>樽見鉄道(美江寺駅)</td> </tr> <tr> <td>バス</td> <td>岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)</td> </tr> </table>	鉄道	樽見鉄道(美江寺駅)	バス	岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)										
	鉄道	樽見鉄道(美江寺駅)															
バス	岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)																
拠点	<table border="0"> <tr> <td>都市拠点レベル</td> <td> <table border="0"> <tr> <td>地域生活拠点</td> <td>県南庁舎周辺地区</td> </tr> <tr> <td>健康づくり拠点、市民交流拠点</td> <td>中ふれあい広場</td> </tr> <tr> <td>歴史、文化交流拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td>地域の暮らしに密着した拠点</td> <td> <table border="0"> <tr> <td>身近な防災拠点</td> <td>中小学校等</td> </tr> <tr> <td>身近な健康、交流拠点</td> <td>中ふれあい広場等</td> </tr> <tr> <td>身近な歴史、文化拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	都市拠点レベル	<table border="0"> <tr> <td>地域生活拠点</td> <td>県南庁舎周辺地区</td> </tr> <tr> <td>健康づくり拠点、市民交流拠点</td> <td>中ふれあい広場</td> </tr> <tr> <td>歴史、文化交流拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table>	地域生活拠点	県南庁舎周辺地区	健康づくり拠点、市民交流拠点	中ふれあい広場	歴史、文化交流拠点	美江寺宿	地域の暮らしに密着した拠点	<table border="0"> <tr> <td>身近な防災拠点</td> <td>中小学校等</td> </tr> <tr> <td>身近な健康、交流拠点</td> <td>中ふれあい広場等</td> </tr> <tr> <td>身近な歴史、文化拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table>	身近な防災拠点	中小学校等	身近な健康、交流拠点	中ふれあい広場等	身近な歴史、文化拠点	美江寺宿
都市拠点レベル	<table border="0"> <tr> <td>地域生活拠点</td> <td>県南庁舎周辺地区</td> </tr> <tr> <td>健康づくり拠点、市民交流拠点</td> <td>中ふれあい広場</td> </tr> <tr> <td>歴史、文化交流拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table>	地域生活拠点	県南庁舎周辺地区	健康づくり拠点、市民交流拠点	中ふれあい広場	歴史、文化交流拠点	美江寺宿										
地域生活拠点	県南庁舎周辺地区																
健康づくり拠点、市民交流拠点	中ふれあい広場																
歴史、文化交流拠点	美江寺宿																
地域の暮らしに密着した拠点	<table border="0"> <tr> <td>身近な防災拠点</td> <td>中小学校等</td> </tr> <tr> <td>身近な健康、交流拠点</td> <td>中ふれあい広場等</td> </tr> <tr> <td>身近な歴史、文化拠点</td> <td>美江寺宿</td> </tr> </table>	身近な防災拠点	中小学校等	身近な健康、交流拠点	中ふれあい広場等	身近な歴史、文化拠点	美江寺宿										
身近な防災拠点	中小学校等																
身近な健康、交流拠点	中ふれあい広場等																
身近な歴史、文化拠点	美江寺宿																

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通づくり	主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備	・東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICへのアクセスを確保し、活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光、交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	交通結節機能の強化	・地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所やアクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【地域住民、事業者、市】
水、緑づくり	河川環境(桜並木、緑地)の保全、親水空間の整備(散策路等)	・水と緑のネットワークの主軸として、犀川、五六川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・果樹園、花き生産農地、水田など優良農地を保全、活用します。	【地域住民、市】
市街地づくり	地域生活拠点の形成(県南庁舎周辺)	・生活利便施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。	【地域住民、事業者、市】
	土地利用のルール、利活用の検討(特定用途制限地域、工業導入地域等)	・無秩序な宅地開発を抑制するとともに、良好な住環境、営農環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を誘導します。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり(防災、景観、環境)	河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、犀川、五六川等の河川整備を促進します。	【県】
	美江寺宿の保全、活用	・歴史的な街並みや祭り等の伝統文化を保全するとともに、観光、交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、県、市】

図 地域構造及び重点施策図（中地域）



<地域全般に関する施策>

安全な歩行空間の整備 (全体構想編P38参照)
公共交通の充実 (全体構想編P39参照)
身近な公園の整備 (全体構想編P42参照)
公共関連特環下水道の整備 (全体構想編P43参照)
集落地の住環境の改善 (全体構想編P47参照)
橋梁の耐震化 (全体構想編P52参照)
建築物の耐震化、不燃化 (全体構想編P52、53参照)
景観計画の策定 (全体構想編P53、54参照)

凡例

住宅地 (周辺、郊外居住)	地域生活拠点	幹線道路
工業地	歴史、文化交流拠点	補助幹線道路
沿道複合地	健康づくり拠点、市民交流拠点	その他の主要な生活道路
農地、集落地	主要な防災活動拠点	身近な防災拠点
河川	歩行者ネットワーク (歴史街道) の主軸	身近な健康、交流拠点
	歩行者ネットワーク (沿川等) の主軸	身近な歴史、文化拠点
		身近な自然、交流拠点
		その他の施設

〈地域重点施策の進め方〉

土地利用のルール、利活用の検討

農地の保全

- 地域住民、事業者等とともに土地利用のルール、利活用の検討、計画の作成
- ▼
- 土地利用のルール化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
 - 土地利用計画と農業振興地域、農用地区域等の計画、規制内容との調整、検討
 - 農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく実施計画等の見直し検討
- ▼
- 地域住民、事業者等による土地利用のルールに基づく土地の利活用の実施

交通結節機能の強化

地域生活拠点の形成

- 地域住民、事業者等とともに、美江寺駅周辺等における地域生活拠点の形成に向けた方策の検討、計画作成
- ▼
- 美江寺駅周辺の計画の実現化に向けた都市計画法等に基づく手続きの促進
- ▼
- 地域住民、事業者等による土地の有効利用の実施

主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備

- 主要地方道岐阜県南大野線バイパスのルートの検討、計画の作成
- ▼
- 計画に基づく路線設計、用地買収及び整備の実施

中山道の歩行空間の整備

美江寺宿の保全、活用

- 中山道の整備計画の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともに美江寺宿の保全、活用に向けた対策の検討、作成
- ▼
- 地域住民等とともに、同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保、整備
 - 美江寺宿の保全、活用の実施

河川整備

河川環境の保全、親水空間の整備

- 岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく犀川、五六川等の河川整備の促進
- ▼
- 犀川、五六川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。

第13章 西地域のまちづくり構想



第13章 西地域のまちづくり構想



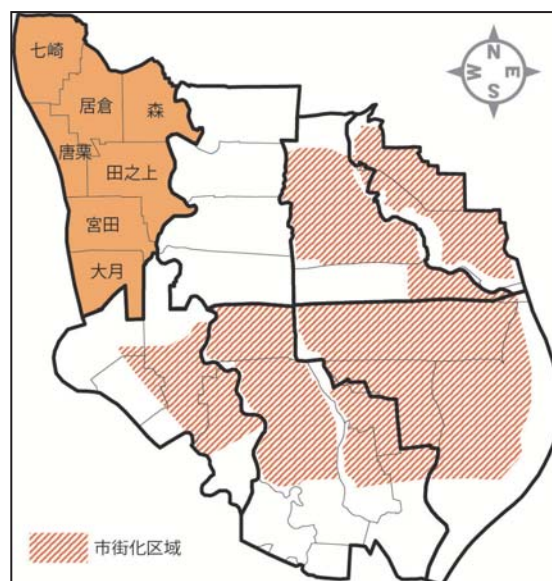
13-1 地域づくりの前提条件

1. 地域の特徴

〈地域の概況〉

- ・市北西部に位置し、七崎、居倉、森、唐栗、田之上、宮田及び大月地区が該当します。
- ・根尾川、揖斐川と犀川に挟まれた位置にあり、中部に長護寺川が流れています。
- ・鉄道はなく、主要な道路としては、主要地方道岐阜県南大野線、一般県道曾井中島美江寺大垣線、一般県道田之上屋井線が通っています。また、地域の北端では東海環状自動車道が計画されており、(仮称)大野

図 地域の位置



- ・神戸 IC にアクセスする主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備が進んでいます。
- ・バスは、岐阜バス(美江寺・穂積線)、みずほバス(本田・唐栗線、十九条・古橋線)が通っています。

〈面積及び人口〉

- ・平成27年の人口は、4,202人(市全体の7.7%)で、平成22年~27年の人口増減は、209人の減(4.7%減少)となっています。
- ・平成27年の高齢者数は、881人(市全体の8.4%)で、高齢化率は21.0%と、市平均(19.4%)より高い地域です。
- ・平成27年の世帯数は、1,393世帯(市全体の6.6%)で、世帯人員は3.02人/世帯と、市平均(2.59人/世帯)より多くなっています。
- ・面積は約463haで、ほぼ全域が準都市計画区域です。

〈土地利用等の現況〉

- ・富有柿の発祥の地で、柿畑などの果樹園や花きの農地、田園地帯が広がっており、その中に集落地が点在しています。

- 主要地方道岐阜県南大野線と一般県道曾井中島美江寺大垣線の交差部周辺に、商業施設が集積しています。また、工業導入地域として田園地帯の中に工場が点在しています。

〈都市施設等の現況〉

- 都市計画道路は、東海環状自動車道の1路線が計画されており、公園としては根尾川河川公園、長護寺川水辺公園などが整備されています。
- 下水道は、特定環境保全公共下水道が整備されています。
- 主な公共施設としては、県南庁舎、県南公民館、老人福祉センター、西部複合センター等、多数の施設が位置し、西部の拠点としての機能を有しています。そのほか、西小学校、西ふれあい広場が位置しています。
- 一部に狭あい道路や木造住宅が密集した地区があります。
- 多くの河川が流れ、良好な自然環境、親水環境を有しています。
- 伊久良河宮跡など、歴史を感じさせる史跡を有しています。

〈市民アンケート調査結果〉（瑞穂市第2次総合計画より）

- 定住意向は74.6%で、市内で最も低くなっています。
- 定住したい理由では、「住み慣れていて愛着がある」、「自然が多くまちの環境が良い」や「災害や犯罪が少ない」という意見が多くなっています。
- 定住したくない理由では、「交通の便が良くない」という意見が多くなっています。
- 今後の重点施策としては、下記の事項などを重視する意見が多くなっています。

医療、福祉、介護の充実

高齢者対策

- 現状の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

働く場や地域経済を支える工場、事業所が少ない

子育て、医療、福祉など、暮らしに欠かせない生活利便施設が少ない

- 将来の土地利用については、下記の事項などの意見が多くなっています。

空き地や未利用地など有効利用を促進する

優良な農地の積極的な整備や耕作放棄地の解消を図る

2. 地域づくりの主要課題

・人口減少対策の強化(人口の維持、確保、産業の誘致等による働く場の創出)
・地域の実情を踏まえた土地利用規制等の運用、見直し
・柿畑などの果樹園や花き生産農地、水田等の計画的な保全、整備による農業の振興
・巢南庁舎周辺や幹線道路沿道等における生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の維持、誘導、集積、交通結節点としての機能向上
・東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC に近接する立地条件を活用した計画的な低未利用地の活用、自然環境に配慮した西部の拠点にふさわしい商工業系土地利用の誘導、集積
・都市間、拠点間、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC をつなぐ利便性の高い幹線道路ネットワークの形成（未整備の県道、市道等の整備）
・河川の自然、親水環境の保全、活用（公園、散策路等）、治水対策の推進
・伊久良河宮跡や富有柿発祥の地としての歴史的資源の保全、活用

※導入編P 8～11の都市全体の課題において、本地域が踏まえるべき課題も踏まえています。

3. 全体構想での代表的な位置付け

- ・地域生活拠点：巢南庁舎周辺地区
- ・交流拠点（健康づくり、市民交流）：西ふれあい広場、巢南庁舎周辺
- ・産業集積軸：主要地方道岐阜巣南大野線バイパス
- ・主要な防災活動拠点：巢南庁舎

13-2 地域づくりの方針

交通利便性の向上を活かした都市機能強化と、 特色ある農村環境、自然環境の共生による、活力ある地域づくり

- ◆将来、東海環状自動車道（仮称）大野・神戸 IC に近接するという地域性とアクセス道路である主要地方道岐阜巣南大野線バイパスの整備に伴う交通条件を活かし、産業の集積を図ります。
- ◆河川（揖斐川、根尾川、犀川等）の自然環境、柿畑などの果樹園や花き農地、水田等の農村風景、伊久良河宮跡などの歴史資源等を保全、活用し、地域の魅力向上を図ります。
- ◆巢南庁舎周辺において、公共公益施設や生活に身近な商業、サービス、医療、福祉施設等の集積を図り、西部の拠点としてふさわしい地域生活拠点の形成を図ります。

この地域づくりの方針を実現するための「地域構造」及び「重点施策」を整理しました。

〈地域構造〉

分野		内容	
土地利用	工業地	地域中部、南部	
	沿道複合地	(主)岐阜県南大野線バイパス沿道	
	農地、集落地	上記以外	
	自然環境地	揖斐川	
道路、交通	幹線道路	(主)岐阜県南大野線バイパス (一)曾井中島美江寺大垣線	
	公共交通	バス	岐阜バス(美江寺・穂積線) みずほバス(本田・唐栗線)
拠点	都市拠点レベル	地域生活拠点	県南庁舎周辺地区
		健康づくり拠点、市民交流拠点	西ふれあい広場、県南庁舎周辺
	地域の暮らしに密着した拠点	身近な防災拠点	西部複合センター等
		身近な健康、交流拠点	西ふれあい広場等
		身近な歴史、文化拠点	伊久良河宮跡
身近な自然、交流拠点	犀川(サウ)		

〈重点施策〉

分野	施策名	内容	実施主体
道路、交通づくり	東海環状自動車道の整備	・活発な産業活動や交流拡大につながる広域的な幹線道路として、整備を促進します。	【国】
	主要地方道岐阜県南大野線バイパスの整備	・東海環状自動車道(仮称)大野・神戸ICへのアクセスを確保し、活発な産業活動や交流拡大につながる幹線道路として、整備を促進します。	【県】
	中山道の歩行空間の整備	・中山道における歩道等の整備、誘導サインの設置等により、観光、交流に寄与する歩行者ネットワークの形成を図ります。	【地域住民、事業者、県、市】
	県南庁舎周辺における交通結節機能の強化	・地域生活拠点周辺の賑わい創出や交流拡大のため、バス停留所、アクセス道路、駐輪場等の整備を推進します。	【事業者、市】
水、緑づくり	河川環境(桜並木、緑地)の保全、親水空間の整備(散策路等)	・水と緑のネットワークの主軸として、犀川、長護寺川等においては自然とのふれあいや環境学習の場として活用できるよう、河川改修とあわせて親水空間を整備するとともに、河川環境の保全を図ります。	【地域住民、市】
	農地の保全	・果樹園、花き生産農地、水田など優良農地を保全、活用します。	【地域住民、市】
市街地づくり	地域生活拠点の形成(県南庁舎周辺)	・生活利便施設の集積、交通結節機能の向上等、地域住民の日常生活の利便性を向上させる拠点の形成を図ります。 ・市民の憩い、ふれあい、健康づくり等を支える拠点的な市民交流拠点を整備します。	【地域住民、事業者、市】
	土地利用のルール、利活用の検討(特定用途制限地域、工業導入地域等)	・無秩序な宅地開発を抑制するとともに、良好な住環境、営農環境と調和した適正かつ合理的な土地利用を誘導します。	【地域住民、事業者、市】
都市環境づくり(防災、景観、環境)	河川整備	・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づき、犀川、長護寺川等の河川整備を促進します。	【県】
	伊久良河宮跡、富有柿の母木等の保全、活用	・歴史的資源として保全し、観光、交流空間としての活用方法を検討します。	【地域住民、事業者、市】
	防災活動拠点の防災機能の向上(県南庁舎等)	・防災活動拠点である公共公益施設などの防災機能の向上を図ります。	【市】

図 地域構造及び重点施策図（西地域）



<地域全般に関する施策>

凡例

工業地	地域生活拠点	広域幹線道路
沿道複合地	健康づくり拠点、市民交流拠点	幹線道路
農地、集落地	主要な防災活動拠点	幹線道路（構想区間）
自然環境地	歩行者ネットワーク（歴史街道）の主軸	補助幹線道路
河川	歩行者ネットワーク（沿川等）の主軸	その他の主要な生活道路
		身近な防災拠点
		身近な健康、交流拠点
		身近な歴史、文化拠点
		身近な自然、交流拠点
		その他の施設

安全な歩行空間の整備(全体構想編P38参照)
公共交通の充実(全体構想編P39参照)
身近な公園の整備(全体構想編P42参照)
集落地の住環境の改善(全体構想編P47参照)
橋梁の耐震化(全体構想編P52参照)
建築物の耐震化、不燃化(全体構想編P52、53参照)
景観計画の策定(全体構想編P53、54参照)

〈地域重点施策の進め方〉

土地利用のルール、利活用の検討

農地の保全

- ・地域住民、事業者等とともに土地利用のルール、利活用の検討、計画の作成
- ▼
- ・土地利用のルール化に向けた都市計画法等に基づく手続きの推進
- ・土地利用計画と農業振興地域、農用地区域等の計画、規制内容との調整、検討
- ・農村地域への産業の導入の促進等に関する法律に基づく実施計画等の見直し検討
- ▼
- ・地域住民、事業者等による土地利用のルールに基づく土地の利活用の実施

巣南庁舎周辺における交通結節機能の強化

地域生活拠点の形成

- ・地域住民、事業者等とともに、巣南庁舎周辺等における地域生活拠点の形成に向けた方策の検討、計画作成
- ▼
- ・巣南庁舎周辺の計画の実現化に向けた都市計画法等に基づく手続きの促進
- ▼
- ・地域住民、事業者等による土地の有効利用の実施

東海環状自動車道の整備

- ・計画に基づく用地買収及び整備の実施

主要地方道岐阜巣南大野線バイパスの整備

- ・主要地方道岐阜巣南大野線バイパスのルートを検討、計画の作成
- ▼
- ・計画に基づく路線設計、用地買収及び整備の実施

中山道の歩行空間の整備

- ・中山道の整備計画の検討、作成
- ▼
- ・地域住民等とともに同計画に基づく交通規制等を含めた歩行空間の確保、整備

伊久良河宮跡、富有柿の母木等の保全、活用

- ・地域生活者、柿生産者等とともに伊久良河宮跡、富有柿の母木等の保全、活用に向けた対策を検討及び決定
- ▼
- ・伊久良河宮跡、富有柿の母木等の保全、活用の実施

河川整備

河川環境の保全、親水空間の整備

- ・岐阜県新五流域総合治水対策プランに基づく犀川、長護寺川等の河川整備の促進
- ▼
- ・犀川、長護寺川等の河川の環境保全、活用の検討、方策等の作成、実施

防災活動拠点の防災機能の向上

- ・公共公益施設などの防災機能の検証
- ▼
- ・公共公益施設などの防災機能向上に向けた整備の実施

上記の重点施策に加え、地域全般に関する施策についても、「個別計画の作成」、「関係者との協議、合意等」及び「計画に基づく整備の実施」を順次進めていき、地域づくりの方針及び都市全体の将来像の実現を目指します。